

消防防災ヘリコプターの運航委託状況等について

	運航委託会社	消防防災ヘリコプター運航受託状況		ドクターヘリ 運航の有無	備考 ※ (主な事業内容)
		運航団体数	団体		
1	中日本航空	6	青森県・福島県・石川県・愛知県・三重県・広島県	○	人員輸送・報道取材
2	東邦航空	5	岩手県・群馬県・富山県・奈良県・和歌山県	○	報道取材・物資輸送
3	朝日航洋	4	北海道・新潟県・鳥取県・山口県	○	人員輸送・送電線調査
4	セントラルヘリコプターサービス	3	福井県・岐阜県・島根県	○	人員輸送・操縦訓練
5	四国航空	3	岡山県・徳島県・香川県	○	送電線調査・建設協力
6	東北エアサービス	2	宮城県・山形県	×	視察調査（送電線調査含む。）
7	本田航空	2	栃木県・埼玉県	○	人員輸送
8	鹿児島国際航空	2	宮崎県・鹿児島県	○	人員輸送・薬剤散布
9	つくば航空	1	茨城県	×	写真撮影・操縦訓練
10	(株) ジャネット	1	山梨県	○	人員輸送
11	静岡エアコミューター	1	静岡県	×	報道取材・写真撮影
12	大阪航空	1	滋賀県	×	写真撮影・操縦訓練
13	愛媛航空	1	愛媛県	×	消防防災ヘリコプター運航のみ
14	オリエンタルエアブリッジ	1	長崎県	×	消防防災ヘリコプター運航のみ
15	九州航空	1	大分県	×	写真撮影・遊覧
16	天草エアライン	1	熊本県	×	消防防災ヘリコプターの運航のみ

※ その他の事業内容については、平成26年度において、稼働実績が多いものを抽出した。（全日本航空事業者連合会調べ。）

1 消防防災ヘリコプターの機種への互換性等について

項目	訓練内容等
汎用性があると思われる訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・非常操作訓練 (OEI, Tail Rotor 故障) ・計器飛行訓練 ・悪天候時の対処訓練 ・昼間、薄暮、夜間の訓練 ・任務飛行に伴う CRM 訓練等
別機種への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・双発機運用へ移行するための訓練 (OEI 対応) ・EC135FFS は BK117-C2 の非常操作訓練の 80%に適用可 (コックピットの酷似) ＜別機種で対応が難しい訓練＞ ・通常操作訓練 (コックピット操作訓練) ・非常操作訓練 (システム故障)

OEI=最大緊急出力

CRM=クルー・リソース・マネージメント

FFS=フル・フライト・シミュレーター

2 飛行時間への算入について

<p>回転翼機に係る技能証明等の取得のために必要な飛行時間について、以下の通りシミュレーターによる訓練時間を算入可能 (航空法施行規則別表第二)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業用操縦士 (回転翼) : 飛行時間 150 時間のうち、10 時間 ・定期運送用操縦士 (回転翼) : 飛行時間 1000 時間のうち、100 時間 (飛行訓練装置については 25 時間) ・計器飛行証明: 飛行時間 50 時間のうち 30 時間 (飛行訓練装置については 20 時間)

3 消防防災ヘリコプターの機種に対応しているシミュレーターについて

機種	国	レベル
アグスタウェストランド AW139	イタリア、アメリカ等	FFS Level D
ユーロコプター AS365 N2, N3	フランス	FFS Level D
シコルスキー S76	アメリカ	FFS Level D
ベル 412EP	アメリカ	FFS Level D
※EC145	ドイツ	FFS Level D

※EC145 にあつては川崎 BK117C-2 の類似機にあたり、フライトシミュレーターにあつては、EC145 のみドイツに存在する。